

番号	評価書 ページ	重点 プロジェクト 番号	意見 番号	委員名	質問事項	回答	担当部	担当課
1	18	1-2-1	4	高橋由利子	重要業績評価指標の①中心市街地の歩行者通行量は、平成29年度に6,655人でAA評価だが、前後の数値を見ると、不自然さを感じる。平成29年度の分析では、数値の急増を、にぎわい広場を積極的に活用したことや東街区のマンション入居が完了したことで説明しているが、平成30年度にも同じ状況はあるわけで、釈然としない。	歩行者通行量について、平成29年度が大きく増加したのは、調査前日にエコパスタジアムでイベントがあったことが前2カ年より大きく増加した要因と思われる。	産業経済部	産業労働政策課
2	27	1-4	3	高橋由利子	課題の欄の書きぶりは、項目を羅列してあるだけある。それらがどういう状況で具体的に何が問題だと認識されているのかを明らかにしていただきたい。	<p>1-4-1 観光・CP課</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・掛川市のブランドメッセージ「あなたの夢、描いたつづきは掛川で。」とそのロゴマークを作成したが、まちのブランドイメージの確立には至っていない。</li> <li>・掛川市が暮らしやすいまちであるということが、市民や市外の方に伝わっていない。</li> <li>・市民が主体的となったシティプロモーション活動や新たな賑わいづくりが、まだまだ不足している。</li> <li>・市内外の若者や子育て世代に、掛川市の魅力が伝わっていない。</li> <li>・シティプロモーションの推進状況を評価検証する仕組みや指標が確立されていない。</li> </ul> <p>1-4-2 観光・CP課</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移住に関する様々な相談に対し、それを受け入れる体制や横の連携が確立されていない。</li> <li>・移住を検討している方たちの把握や、何を目的に移住を検討しているかの把握が難しく、具体的な施策に結びついていない。</li> </ul> <p>1-4-3 都市政策課</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な施策の内容で述べた中で老朽化空き家の除却は、関係機関との連携により仕組み作りが進んでいる。今後は、この仕組みの中で実績を上げていくことができると考えている。</li> <li>・移住希望者に情報発信をし、空き家の活用を促すために空き家バンクの設置を課題として上げさせていただいた。</li> </ul>	産業経済部 都市建設部	観光・シティプロモーション課 都市政策課

番号	評価書 ページ	重点 プロジェクト 番号	意見 番号	委員名	質問事項	回答	担当部	担当課
3	27	1-4	3	高橋由利子	また、課題の欄の多くの記述が、前年度と同じ文章であり、現況がわからない。	1-4-1 観光・CP課 ・H29年度から、市としてのシティプロモーションの推進がスタートし、この2年でブランドメッセージやロゴマークを作成したところであるため、課題としては大きな変化はない。 1-4-2 観光・CP課 ・移住・定住施策も同様で、短期間で結果が出るものではないため、課題としては大きな変化はない。 1-4-3 都市政策課 空き家問題については、解体及び利活用について、関係団体と連携で取り組んでいるところである。 解体については、仕組みが作られたと認識している。今後は、活用についての仕組み作りが必要と考え空き家バンクの立ち上げとした。なお、空き家バンクについては、民間不動産会社が取扱う流通空き家との棲み分けや所有者の同意を取るところに苦慮している。	産業経済部 都市建設部	観光・シティプロモーション課 都市政策課
4	30	2-1	2	高橋由利子	「女性の働きやすい環境づくり」のための事業や指標を設定していないので、進捗が読み取れない。	静岡労働局との雇用対策協定において、子育てと仕事の両立環境整備として、社会保険労務士の支援回数と子育てに優しい事業所の認定数、及び男女共同参画宣言事業所数を指標として設定している。（詳細は添付の「平成30年度雇用対策協定運営協議会資料」のとおり。）	産業経済部	産業労働政策課
5	31	2-1-1	3	高橋由利子	タスクフォースセンターが提供できるスキルのレベルは、企業の課題解決のための実務支援を行うに足るものなのか。 経営アドバイス関連の事業者は多いし、専門分野であれば士業の方々がいるので、タスクフォースセンターを必要とする顧客をどこに見出すのかを、再確認したい。	タスクフォースセンターは専門的な知識・技術等を持ったシニア人材等を活用し、地域の企業等の経営課題を解決することにより、人材の能力活用及び雇用促進、地域経済の活性化、地域産業力の向上に寄与することを目的としている。昨年度76名の登録人材の内実働50名と報告を受けており、一定のレベルにあると考えている。 営業や金融機関等支援機関からの紹介を通じて顧客を開拓していく。	産業経済部	産業労働政策課
6	31	2-1-4	8	山田慎也	KPI「雇用対策協定の推進」の「12指標」について、その内容と個別の達成率を確認させていただければと思います。	添付の「平成30年度 雇用対策協定運営協議会資料」のとおり。	産業経済部	産業労働政策課

番号	評価書 ページ	重点 プロジェクト 番号	意見 番号	委員名	質問事項	回答	担当部	担当課
7	34	2-2-2	5	高橋由利子	H30計画の欄にある「地場産品を活用する農業者を支援」は、事業費0円で人工は0.1人である。予算も人もかけずに支援するとは、どのような内容なのか。	農業者が6次産業化を検討する際、国や県、中小企業等の支援策の情報提供を行うとともに、市の予算計上を必要としない直接採択事業を実施する際には、補助申請及び事業実施支援(会計検査等にも耐えられる)を行っている。また、国や県と農業者のパイプ役となって事業調整を行うことや、事業実施後の商品のマスコミへのPRなどを実施。茶やオリーブについては、市内外の企業に対し、連携等を提案・調整するとともに、必要に応じ農家とマッチング、試作品の製造などを行っている。	産業経済部	農林課
8	37	2-3-1	4	鈴木緑	企業誘致件数が目標を大きく超えています。しかし、一方では1-4-4UIJターン・地元定住に係る支援(12ページ)では学生が希望する職種と企業が希望する職種がマッチしていないという課題があげられています。誘致した企業の稼働率がわかりませんが、若者が希望する企業誘致ができていますでしょうか。企業を誘致したことによるUIJターンへの効果は具体的に何人くらいなのでしょう。掛川出身者の新卒採用状況と共に知りたいです。誘致件数が多いだけに質も気になります。	誘致件数11件のうち、操業中の事業所は7件です。7件の企業については、全て近隣市(県内)に事業所があり、用地取得の目的は移転もしくは事業拡張です。雇用効果は、新たに市内に118人(うち掛川市民の新規雇用45人)の雇用が創出されました。残念ながら、UIJターン及び掛川市出身者についての統計数値はありません。なお、市内製造業の多くは、現場技術者として長く就労できる高卒者を新規雇用のターゲットとしています。労働力不足から今後、中途採用者の確保に取り組む話も伺うことがありますので、UIJターン就職につながることも考えられます。	産業経済部	産業労働政策課
9	37	2-3-1	5	高橋由利子	重要業績評価指標の達成状況と要因にあるように、事業所の県外移転が危惧される中、もともと市内にあった事業所を留め置き形を含めているとはいえ、3件の実績があることは評価できる。これらの企業は、どのくらいの経営規模か。	(市内移転A社) 本社:掛川市、設立:S62年 資本金:3千万円、従業員:約50人、業種:製造業 (市内移転B社) 本社:東京都、設立:S25年 資本金:1億円、従業員:約1700人(全体)、業種:総合物流業 (市外から進出C社) 本社:近隣市、設立:S49年 資本金:300万円、従業員:約150人、業種:製造業	産業経済部	産業労働政策課

番号	評価書ページ	重点プロジェクト番号	意見番号	委員名	質問事項	回答	担当部	担当課
10	65	4-1-1	5	高橋由利子	令和元年度の事業評価においては、各協力機関にどのような働きかけをし、何が実現したのかを記載いただきたい。	・出前講座等での周知により「家庭の避難計画作成」が5.9%の増。 ・地区まちづくり協議会と協働で各戸を訪問し、家具の固定など自助による防災対策の推進を図った。	危機管理部	危機管理課
11	65	4-1-3	8	高橋由利子	「掛川西スマートインターチェンジの設置検討」が、平成30年度、令和元年度の少なくとも2か年に亘って行われるようだが、検討の期限はいつを想定しているのか。	2カ年の検討結果を基に、令和2年度内に一定の方向性(結論)を示す予定。	都市建設部	土木課
12	67	4-2	1	高橋由利子	内部評価の課題の記載が、平成29年度版からほとんど変わっていない。課題は認識しているが、解決の方策を見出せないという状態なのだろうか。	当該計画は、政治的判断を伴うハード事業に関わるため、まず、地元の意向を集約してきた。	協働環境部 都市建設部	環境政策課 都市政策課
13	68	4-2-2	4	高橋由利子	木の駅事業と木質バイオマスガス化発電プロジェクトについて、調査をすることによって、前年度よりは多少は具体化した印象を受けるが、実際のところは、この評価書からは読み取れない。	木の駅事業は発電機の日途がある程度立たないとこれ以上前に進めない状況。ガス発電事業最大の問題であったコスト削減に効果のある発電機の研究が進み実証に入る段階になっている。	協働環境部	環境政策課
14	74	4-3-1	3	高橋由利子	昨年度の評価書の今後の取組の方向性として、「ユニチャーム(株)協働によるソーシャルウォーキングを各地で開催」とあるが、どのような結果が得られたか。	地域の健康づくりの取り組みとして各地で開催してきましたが、ソーシャル・ウォーキングはユニチャーム(株)が開発した認知症予防プログラムであるため、今後はよりターゲット層を絞り、全市的な開催に取り組めます。	健康福祉部	健康医療課
15	74	4-3-3	5	高橋由利子	課題としている「施設の老朽化」と、今後の取組の方向性に記載のある「地域で自主的に実施する」ことはどう関連するのか。	孤食を減らす居場所としては、老人福祉センター事業や生きがいデイサービス、地域で実施するサロンがある。老人福祉センター事業は、施設の継続維持が施設老朽化により、今後、難しくなってくる。地域(生活圏域)で実施するサロンの充実を図ることで、地域で支え合う、暮らしやすい共生社会をめざす。市としては、ふくしあ内の生活支援コーディネーターが、地域作りを共に考える。	健康福祉部	長寿推進課

番号	評価書ページ	重点プロジェクト番号	意見番号	委員名	質問事項	回答	担当部	担当課
16	74	4-3-3	6	高橋由利子	地域に運営を任せることの積極的な理由は何か。	地域の実情に合わせた運営で、自助共助、地域で支え合う共生社会をめざす。そのため、市としては、ふくしあ内の生活支援コーディネーターが、地域作りを共に考える。	健康福祉部	長寿推進課
17	78	4-4-1	3	高橋由利子	フリーマーケットやウォーキングマップ販売は、何を指して行う事業なのか。「まちづくり」という何でも包含してしまう単語を用いずに説明するとどうなるか。	地区住民の交流の場を作りだし、住民同士の絆づくりを目的とし地区の魅力を発信することで地区の活性化・流入人口の増加につながると共に、財政確保による持続可能な活動を目指している。	協働環境部	生涯学習協働推進課
18	78	4-4-1	3	高橋由利子	フリーマーケットやウォーキングマップ販売の目的を、「住民が集い、地域への愛着を増すこと」とすれば、その結果、住民意識はどのように変わったのか。	住民の地域愛が増す事により、地域への貢献心が芽生え、協働によるまちづくりへの参加意識が高まっている。	協働環境部	生涯学習協働推進課
19	78	4-4-1	4	高橋由利子	第1回会議で、「森のせっけん事業」は採算が取れず、市場性も望めないとの説明があった。改めて何うことになるが、せっけん作りは、どんな課題を解決するための事業なのか。	森林・里山の資源を有効活用し、ビジネスモデルを作ること、地域の雇用促進と移住・定住を促進する。	協働環境部	生涯学習協働推進課
20	79	4-4-2	12	高橋由利子	課題の「市民活動団体と企業CSRを繋ぐために企業側のニーズを把握する」との記載は、昨年の評価書と同じである。1年間で、具体的に何を行ったのか。	①「協働によるまちづくり活動発表会」にて企業CSRの取り組み発表の場を設けた。 ②個別に相談があった件について地区まちづくり協議会とマッチングを行った。 【マッチング事例】 杏林堂薬局、掛川東病院とまちづくり協議会(南郷地区)が協働で生活改善講座を開催。	協働環境部	生涯学習協働推進課
21	79	4-4-3	13	高橋由利子	(1)(2)の実績とR1計画欄の記載が、全く同じでなので、「地区防災計画の検証、見直し」「自主防災会の組織化、研修・ワークショップ等の開催」の進捗度合がわからない。	「地区防災計画」作成済み12地区 作成中8地区 「研修・出前講座等」113回	危機管理部	危機管理課

番号	評価書 ページ	重点 プロジェクト 番号	意見 番号	委員名	質問事項	回答	担当部	担当課
22	79	4-4-3	14	高橋由利子	重要業績評価指標の平成30年度の 家庭避難計画策定率は45.4%？	市民意識調査によるもので、「家庭の避難計画作成率」H30の確定値は、45.3%、H29は、39.4%です。	危機管理部	危機管理課
23	79	4-4-4	16	高橋由利子	かけがわ未来づくり会議講座の受講 者は、得た知識を、「掛川流協働」で どのように活用するのか。	地域課題の解決に向けた即戦力として、自ら解決策を考え、 地区まちづくり協議会の担い手として、地域に入って活動を実践する。	協働環境部	生涯学習協働 推進課
24	83	4-5	3	高橋由利子	推進を阻害する要因となっている市 民の意見や懸念として、どのようなも のがあるのか。	本年度、公共施設マネジメント地区説明会及びアンケートを 実施し意見集約をいたします。	企画政策部	企画政策課
25	83	4-5-2	6	高橋由利子	平成30年度計画で既に「共同委託化 検討のため4市ワーキング部会の開 催」が記載されていたが、令和元年度 も同様である。1年遅れたのは、どの ような状況があつたのか。	令和4年度の「事務の共同委託化」開始を目標に平成30年 度、令和元年度の2ヶ年でワーキング部会を継続し協議を推 進しています。	上下水道部	水道課